

「ごみ処理有料化制度についての意見交換会」でいただいたご意見とそれに対する岐阜市の考え方

- 開催日程：令和7年2月3日（月）から令和7年3月2日（日）まで全20回
- 開催場所：各コミュニティセンター（8か所）及び岐阜市役所庁舎
- 参加者数：計1,088人

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
【ごみ処理有料化制度の導入について】		
1	ごみの有料化は、ごみ減量に繋がるので賛成である。	本市のごみ処理の現状及び地域の課題等を総合的に勘案し、ごみの減量・資源化を推進すること、地域コミュニティの支援を要すること、岐阜羽島衛生施設組合の他の構成市町の有料化制度の導入状況から、ごみ処理の有料化を実施することを判断しました。 また、これまで、地域への支援を早期に行う必要があること、制度の実施に係る手続等に一定期間を要すること、岐阜羽島衛生施設組合の次期ごみ処理施設の稼働開始時期から、令和9年4月までに有料化を実施するとしていましたが、有料化制度への円滑な移行を図るため、ごみの排出量が安定する時期である令和8年10月1日からの開始とします。
2	有料化は時代の流れからやむを得ないものと思う。	
3	ごみ袋自体が指定でなく、手数料が無料であったのは奇跡だと思う。他自治体では、当たり前のように有料化している。	
4	他市町からの持ち込みごみに困っているため、一刻も早く有料化してほしい。	
5	有料化には賛成。税金の節約になるうえ、ごみの減量意識が芽生え、ごみの捨て方を市民が工夫するようになる。	
6	ダンボールコンポストをはじめて、Sサイズのごみ袋一つしか出ない。ほかの人は45リットルのごみ袋を4つか5つ出す。そのため、有料化には大賛成である。	
7	ごみ減量に努力している人としていない人に対して、同額の公費を投入することは不公平ではないか。	
8	有料化は令和9年4月よりも前に実施すべきである。	
9	今までごみ処理が無料で処理してくれていたのはありがたいが、今後も有料化しなくてもいいようにしてほしい。	
10	物価が上がっている状況で、ごみの有料化を実施することはやめてほしい。	
11	プラスチック製容器包装の分類によってごみの量は減っており、家庭ごみの無料を継続してほしい。	
12	岐阜市がごみは無料であることをむしろ岐阜市の売りにしてほしい。	
13	ごみ減量資源化指針の中で、中核市の平均に届かなかったら有料化するということがあった。市のPRや減量の施策が足りなかったのではないかな。	
14	消費を増やしたりして経済を回す方向で、財源を確保すると良いと思う。	
15	有料化は反対ではないが、ごみ処理有料化は実質的な増税ではないのか。	本市のごみ処理は、現在、主に税収入を財源として実施しており、ごみの減量に努力している人としていない人の費用負担は同じです。ごみ処理有料化を導入し、ごみの排出量に応じた負担をお願いすることで、費用負担の公平性の確保が図られます。
16	ごみ有料化について納得できるところはあるが、ごみ処理については税金で運用すべきものではないのか。	
【有料化の対象とするごみについて】		
17	自治会で行う清掃活動において、公園や墓地の草や土のごみはどのような扱いになるのか。	都市美化ごみは、不特定多数の方が利用する公共の場所（道路、公園、河川や、地域で管理する神社、墓地、自治公民館、ごみステーションなど）において、他者が排出したごみをボランティアで清掃したごみであり、家庭や事業活動によって排出されるごみとは異なることから、有料化の対象とせず、個別に市が無料回収するか、少量の場合には、ボランティア用指定ごみ袋を無料配付し、ごみステーションに排出可能とします。
18	神社や墓地の清掃活動についても、都市美化ごみとして扱われるか。	
19	地域の公民館や公園から出るごみは無料で回収してもらえるのか。	
20	道路の清掃など、自治会でボランティア清掃している都市美化ごみについての取り扱いが心配である。	
21	用水路の清掃で出たごみはどうなるのか。どういった方法で出すのか。	
22	有料化自体には反対ではないが、近所に銀杏の木があり、落ち葉が大変な量であるため、そのごみが有料となると困る。	
23	ごみステーションがガラスで荒らされた後の片づけを、近くに住んでいる人がボランティアで掃除をして袋にまとめている。そういったごみも有料の対象となると、掃除をする人が損をすることになるので、戸惑っている。	
24	関市には、ボランティア袋がある。ボランティア清掃で出たごみはその袋で回収しているので、導入してみてもどうか。	

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
25	ごみ処理手数料の減免については、生活保護受給世帯などの経済的弱者に限った方がよい。	ごみ処理有料化は、ごみの排出量に応じた費用負担を求めることで、費用負担の公平性を図るものです。環境審議会からの答申において、減免の対象は、できる限り範囲を限定することが適当であり、生活保護受給世帯や天災その他の災害を受けた者を対象とするとされています。 また、資源化の促進を推進するため、使用済み紙おむつの再商品化や落ち葉・刈り草等の資源化について調査研究を行っていくこととしています。
26	生活保護受給世帯や災害ごみ以外に、児童扶養手当受給者や障がい者への手数料減免を検討してほしい。	
27	介護や、子育て世帯のオムツのごみの無料回収や補助を検討してほしい。	
28	雑草等は資源ごみとして出すのか、家庭ごみとして出すのか。	
29	田んぼの法面の草刈りを行っているが、そういったごみも有料化の対象となるのか。野焼きをするにも通報されることもある。	
30	家の近くの草刈りで出たごみはどうなるのか。現在でも大量に出てこれが有料ということになると大きな負担となる。	
31	地域のイベントで出たごみの扱いはどうなるのか。	自治会等が主体となって行われる市民運動会や夏祭りといった「地域のイベント」で排出されるごみは、地域コミュニティへの支援として、手数料を減免します。
【有料指定ごみ袋について】		
32	ごみ袋の形について、持ち手のあるものがよいとか、収集される方の生の声を聞いたのか。	本市のごみ収集を委託する業界団体とも協議を行い、有料化制度をとりまとめています。なお、家庭系有料指定ごみ袋は、ごみ排出時の利便性を考慮し、口を結びやすく持ち運びしやすい持ち手付きの形状とします。 有料指定ごみ袋は、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストアなどの指定ごみ袋取扱店を幅広く募集し、指定ごみ袋取扱店で販売します。なお、指定ごみ袋の販売は、有料化実施の2か月前である令和8年8月頃からを予定しています。 有料指定ごみ袋の料金水準は、ごみの排出抑制のほか、市民に受け容れて頂ける料金の範囲、周辺市町の料金水準、ごみの処理や資源化に係る経費であるごみ処理原価の4つの観点から検討した結果、45Lのごみ袋1枚あたり50円(1Lあたり1.11円)としました。 なお、本市のごみの処理に係る経費は令和5年度実績で年間53億円程度であり、これをすべて賄うには、45Lの袋1枚あたり220円程度とする必要があります。
33	ごみ袋がしっかり店頭に並ぶように準備期間をしっかりと作ってほしい。	
34	ごみ袋の販売店舗によっては、徒歩圏内にない可能性があるため、販売場所を考えてほしい。	
35	袋を販売する際は、販売店一覧表を作ってほしい。	
36	袋の値段50円の内訳はどのようなものなのか。	
37	ごみ袋の数は現在3種類の案があるが、より小さい袋はごみ減量をしたという理由で単価を安く設定すべきではないか。	
38	ごみ袋の値段が45リットルで50円は高い。	
39	自治会に支援するのではなく、袋の値段を安くすべきではないか。	
40	環境税を別に徴収して、ごみ袋の値段は20円にしてほしい。	
41	ごみ袋の料金は周辺市町の料金設定ではなく、市として本当に必要な金額を設定するべきではないのか。	
42	一部事務組合の中の市町のごみ処理手数料は均一にしてほしい。	
43	ごみステーション方式と戸別収集方式のそれぞれで、回収方法を異にする場合はそれぞれ専用の袋を作成し、戸別収集用の袋は手数料を更に上げるようにするとよい。	ご意見にある一定量無料型の場合、一定の排出量まで使用のごみ袋を配布する費用が必要となります。本市は、制度が単純で分かりやすく、ごみ袋配布等の費用が不要であること、有料化都市のうち96%が採用していることなどから、ごみの排出量に応じて、手数料を負担する排出量単純比例型を採用しています。
44	年間1人当たり一定の排出量までは無料とし、それ以上を超える排出量については有料とするように、住民に袋を配付するのはどうか。	

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
45	手数料込みの有料ごみ袋を販売するのではなく、単純指定袋から始めてはどうか。	単純指定ごみ袋は、ごみの排出方法や分別区分が分かりやすくなるため、普通ごみに混入している資源ごみが適正に分別され、資源化の促進が期待されます。一方で、有料指定ごみ袋と比べ、ごみの排出抑制につながり難く、また、費用負担の公平性な確保が図られないため、本市では、単純指定ごみ袋方式ではなく、有料指定ごみ袋方式としています。
46	10ℓのような小さいごみ袋を作ってほしい。	小袋の容量を20Lから15Lに修正し、「大袋（45L）、中袋（30L）、小袋（15L）」の3種類とします。
47	庭木から出る剪定枝のごみが多いので、70ℓの袋のような大きい袋を用意してほしい。	家庭から出る剪定枝は、資源ごみとして無料で回収し、資源化します。なお、剪定枝は、紐等で束にするか、袋に入れ、市内3か所の粗大ごみ自己搬入施設へ持ち込んでいただくことを予定しています。
48	転出入があると、その所在地ごとの指定ごみ袋が無駄になってしまうので、岐阜市から転出した際は、指定ごみ袋を返却できるようなルールがあるとよい。	現在のところ、有料指定ごみ袋の代金を払い戻すことは、考えておりません。 なお、ごみ処理有料化制度の導入後は、制度をより効果的に運用していくため、ごみ処理有料化に伴う効果や併用施策の実施状況について、岐阜市環境審議会等で定期的に点検・評価を行い、この結果を踏まえ必要な対応を行いながら、制度の適切かつ効果的な運用を図っていきます。
49	現在使っているごみ袋はどうすればよいか。シール等の導入を検討しているのか。	現在、普通ごみの排出に使用している市販の無色透明又は半透明のごみ袋は、有料化後もビン・カン・ペットボトルやプラスチック製容器包装などの資源ごみの排出に使用できます。
50	有料ごみ袋を作ること自体が環境に負荷をかけるのではないか。	これまで使用している無色透明または半透明のごみ袋の代わりに、有料指定ごみ袋を使用していただくことになるため、有料指定ごみ袋を製造することでは、環境への負荷が増加しないと考えています。
51	市民にごみを捨てる意識を持ってもらうために、ごみ袋に自治会名と氏名を書いて排出するようにしてほしい。	プライバシー保護の観点から、有料指定ごみ袋への記名は求めないこととします。
52	ごみ袋の売り方は、10枚入りで1セットだと思われるが、すぐになくなってしまうと思うので、20枚入りなどのセットも作ってほしい。	有料指定ごみ袋は、ごみ袋の製造費用や指定ごみ袋を導入済の他自治体の状況を勘案のうえ、厚さや素材を決定することになります。 また、販売単位は、先行自治体の事例なども参考として、現在のところ、10枚単位での販売を予定しています。 また、ごみ袋には英語や中国語など、多言語で注意書きし、外国人の方へ注意喚起を行います。
53	ごみ袋は薄いと破れやすいので、厚くした方が市民にとっては良いと思う。	
54	バイオマスを使用したごみ袋を製造する予定はあるか。	
55	外国人の方にもわかるようにごみ袋に外国語を記載するなど、周知してほしい。	
56	ごみ袋に広告を入れたらどうか。	有料指定ごみ袋への広告掲載については、先行自治体での事例など、調査・研究していきます。

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
57	ごみ袋を作成する業者は決まっているのか。岐阜市内の業者で選ぶのか。	有料指定ごみ袋の製造・保管・配送等の業務を委託する事業者は入札で決定します。
58	自治会がごみ袋を売れるようにしてほしい。自治会員に半額で売れるようにしてほしい。	ごみ処理有料化は、ごみの排出量に応じた費用負担をお願いし、負担の公平性を図るものです。そのため、有料指定ごみ袋を割引販売することは考えていません。
【ごみ処理有料化に伴う併用施策について】		
59	剪定枝の回収方法はどのように考えているか。	剪定枝は、紐等で束にするか、袋に入れ、市内3か所の粗大ごみ自己搬入施設へ持ち込んでいただくことを予定しています。
60	剪定枝はごみ袋に入れるのではなく、結束して出すようにしてほしい。袋ではなく、シールを貼るという方式がよいのではないか。	
61	家庭系剪定枝については、何故家庭系と限定しているのか。また、落ち葉等の扱いはどうなるのか。	事業者から排出される剪定枝は、市の許可を受けた民間の一般廃棄物処分業者によって、資源化されることになります。 また、家庭から出る刈り草や落ち葉、草花は、資源化に課題が多いため、普通ごみとして有料指定ごみ袋に入れて排出していただきますが、今後、資源化に向け、調査・研究していきます。
62	プラスチック製品と剪定枝の収集は、有料化と同時にやってほしい。	ごみ処理有料化に併せ、ごみ分別の受け皿として資源化施策を実施することで、減量の強化と市民負担の軽減が図られることから、剪定枝の資源化は、ごみ処理有料化と同時に実施します。
63	製品プラの回収は有料化よりも早く実施してほしい。	しかし、プラスチック製品の再商品化については、収集したプラスチック製品をリサイクル工場へ渡すための選別等の処理を行うリサイクルセンターの改修等が必要となるため、令和11年3月末までに開始する予定です。
64	自治会は地域に対して、老人会や成人式などのイベント事業など、様々な貢献をしている。よって、多少のサービスを受けるのはしかるべきだと思われる。	本市では、効率的にごみの収集を行うため、ステーションによる収集方式を採用し、自治会等の地域の皆様に、管理をしていただいています。このように、本市のごみ処理は、ごみステーションの管理をはじめとして、地域の共助により成立しており、今後も継続して、安定的なごみ処理体制を維持していくためにも、地域コミュニティに対し、地域のごみ処理に係る活動を支援する必要があると考えています。
65	ごみの有料化はやむを得ないと思うが、自治会加入率が低いので、地域支援の実施に期待している。	そこで、ごみ処理有料化制度の導入で得られる収入を財源として、新たなごみ減量・資源化施策の実施とともに、ごみステーションの管理等に対する協力費を自治会へ交付することなどを予定しています。
66	ごみステーションに設置するBOXは値段が高いものが多いため、補助してもらえるとありがたい。	
67	ごみステーションの管理は自治会の協力が必要であると思う。自治会に加入するメリットとして、ごみ袋の配布は良い方法であると思う。	
68	ごみステーションの管理は自治会が行っているのので、自治会員と非自治会員との区別をしてほしい。地域の支援策を行うことで、自治会に加入する人も増えると思う。	
69	自治会加入とごみの有料化の問題は別の問題だと思うが、自治会加入者のみ優遇することはあるのか。	
70	自治会未加入者のみで構成されているごみステーションがあるが、そういった方々には支援をしないのか。	
71	自治会への支援をどのような形でやってもらうのか。	ごみステーションの維持管理に対して、ごみネット・ごみボックスの購入やごみ当番への謝礼、有料指定ごみ袋の自治会加入世帯や清掃活動・イベントへの配布など、各自治会の裁量で広い用途で活用できる協力費の交付や、ごみ出しが困難な高齢者等に変わって、ごみ出しを協力いただく地域の方への活動費の交付などを考えています。
72	自治会加入者へのごみ袋の配付は何枚程度を予定しているのか。	
73	ごみ袋の配布は一般家庭に必要な配布してほしい。	
74	自治会に協力費やごみ袋の支給とあるが自治会員にメリットのある仕組みなのか。	
75	地域への支援については、連合会から自治会へという流れでよいと思う。	

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
76	有料指定袋を自治会員に配布するとあったが、自治会に配布すると、個別の自治会員に配布するという手間が増えるだけであり、ネットの補助とか現物支給のやり方のほうがいいのではないか。	す。 今後、各地区において説明会を開催するなど、地域の皆様から意見を伺いながら、より良い制度となるよう取り組んでいきます。 また、支援策の実施にあたっては、交付に係る事務手続きを簡略化するなど、出来る限り負担のかからない仕組みとします。
77	自治会に協力金を支払うということであるが、末端まで行き渡るのか。	
78	ステーションの管理に対して謝礼ということになるとそれなりの責任が出てくるため、謝礼ではなく別の方法を検討したほうがいいのではないか。	
79	自治会へのごみ袋の配付は賛成しかねる。ごみの減量を目的としているので、有料化をしても減量効果が弱くなる。	
80	自治会に対する支援をしてもらうのはありがたいが、地域住民同士で分断が起きないようにしてほしい。指定ごみ袋の配付以外で何か検討してほしい。	
81	ごみ出しが困難な高齢者がいる。近所の人がごみ出しを手伝っている状況なので、こういった対策をしていくのか。	
82	地域支援の政策によって、自治会加入率はどう推移していくのか。	ごみ処理有料化に併せて実施する地域コミュニティへの支援によって、自治会に加入していることのメリットを感じたり、自治会の地域活動に目を向けていただくことで、自治会への加入を促すきっかけになればと考えています。
83	地域や自治会への支援策については、継続して行っていく予定なのか。	ごみ処理有料化制度をより効果的に運用していくため、制度の導入後は、ごみ処理有料化に伴う効果や併用施策の実施状況について、岐阜市環境審議会等で定期的に点検・評価を行い、この結果を踏まえ必要な対応を行いながら、制度の適切かつ効果的な運用を図っていきます。
84	自治会の役割として、高齢者を地域の方で助け合う制度ができれば、自治会に加入する人も今後増えていくと思う。戸別収集だと地域のつながりが失われると思う。	高齢者等へのごみ出し支援を通じて、支援の必要な人がどこにいるのか、どんな支援が必要なのかなど、日ごろから把握していただき、コミュニケーションを取っていただくことで、災害など、いざという時の共助につながることを期待しています。
85	有料化するとステーションに不法投棄が増えると思うが、ステーションを管理する者も高齢化しており、ステーション方式は高齢化社会においては適しておらず、戸別収集を行った方が良いのではないか。	
【不法投棄・不適正排出対策について】		
86	有料化制度を導入すると、今まで分別していたごみを分別しない人が出てくる可能性があるのではないか。	有料指定ごみ袋以外で排出するなど、不適正に排出されたごみは、これまで同様「イエローカード」を貼り、一定期間ステーションに残置し、排出者に対し注意喚起します。 しかし、制度の導入直後は、誤って有料指定ごみ袋以外の袋で出す方がいることを想定し、ステーションを管理する自治会等の負担を考慮し、一定期間を待たず、市職員において速やかに回収するなど、柔軟に対応したいと考えています。 また、同一のステーションに不適正な排出が繰り返される場合や、山間部などへの不法投棄に対しては、市職員によるパトロールなどの対策強化を図るとともに、啓発看板を設置するなど、周知啓発に努めます。特に悪質なものについては、警察など関係機関と情報を共有し、厳正に対応します。
87	不法投棄されたごみの対策や、ステーションを管理している方が高齢化しているという問題にはどう対処するのか。	
88	有料化すると、不法投棄が増えるのではないのか。その対策についてどうか。	
89	年間に違反ごみはどれくらいあるのかを教えてください。	
90	有料ごみ袋でない袋でステーションに排出されていた場合、市は回収を行うのか。回収を行わない場合には、近所の人が見かねて有料のごみ袋にいれるといったことになるのではないか。	
91	イエローカードで放置されたごみの処理について困っており、有料指定袋ではない袋で出す人がいないようにきちんと対応してほしい。	
92	不適正排出を防ぐ為に、非自治会員、高齢者、外国の方々に対する周知徹底を行ってほしい。	
93	行政として他地域から持ち込ませない対策などを講じてほしい	
94	不法投棄対策を徹底してほしい。	
95	不法投棄について、違反者には注意だけでなく、ホームページなどで公表するようにすれば意識が変わると思う。	
96	不法投棄対策については十分なのか。中身を確認して不適正排出者を特定する必要があるのではないか。防犯カメラを設置する方法が良いのではないか。	
97	不法投棄監視モニターだけに不法投棄の通報などの役割を任せることはやめてほしい。	

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
【ごみステーション（ごみ収集・ごみ出しルール）について】		
98	自治会未加入者へのごみ出しのルールの徹底についてどのように考えているのか。	自治会未加入者や外国人にも情報が届くよう、有料化制度に関するチラシの全戸配布を予定しており、ごみ出しのルールの周知啓発に努めていきます。
99	アパートに住んでいる自治会に入っていない住民が、ごみ出しのルールを守らないため、市から強く指導してほしい。	
100	分別のルールがわからないために、ルールを守らずに排出する人がいる。	
101	ごみ出しのルールについて、もっと高齢者に分かりやすいものにしてほしい。	
102	ごみステーション管理のルール化はどのようなものか。	本市のごみステーションは、他市と比較してかなり多い状況であり、また、一部の地域では、自治会と自治会に未加入の世帯とのステーションの利用に係るトラブルが発生していると伺っていることから、市全域でごみステーションの利用状況等の実態調査を行い、その結果を踏まえ、ごみステーションの設置基準や利用方法等に係るルールの整理を予定しています。
103	自治会管理のステーションに出すことができない人はどうやってごみを捨てればよいのか。	
104	ごみステーションについて、自治会が認めた場所ではしか捨てられないといったルールを決めることはできないのか。	
105	新しいごみステーションの設置について、自治会の許可がいるのはおかしい。誰でもごみを収集してもらう権利はある。	
106	ステーションに自治会名を記載し、ステーションを整理し数を減らしていくべきである。	
107	自治会加入のメリットがあるように、ステーションの管理ルールを作って、戸別収集をなくしてほしい。	
108	ごみステーションの管理のルール化を行う上で、コストを削減するために戸別収集は見直していく必要がある。	
109	戸別収集されている箇所があるようだが不公平ではないか。	
110	高齢者を支援すると言いながら、ごみステーションを集約・整理したいということは、矛盾が生じるのではないか。サービスの低下にもつながりかねない。	
111	自治会のステーションの管理は、負担が大きいため、戸別収集にしてほしい。	
112	ステーション方式をとると、ポイ捨てや不法投棄がしやすい環境となる。戸別収集であれば、自分の家の前でカラスが荒らしたりすれば自分で管理することになり、責任をもってごみを捨てるようになると思う。	市域全体を戸別収集とした場合、ルートの細分化等による新たな車両と人員の確保、それに伴う収集運搬経費の大幅な増加など、大きな課題があり、実施は困難であると考えています。 なお、愛知県春日井市が実施した実証実験を例に本市で試算を行うと、ごみステーション収集から戸別収集に切り替えた場合、収集運搬経費が約2.9倍になると想定されます。
113	ごみの戸別収集を深夜に行う自治体（福岡市）があると聞いた。岐阜市では導入できないか。カラス対策にもなる。	
114	集合住宅専用のステーションを設置することはできないのか。	
115	公営のごみステーションを設置してはどうか。自治会の負担が減ると思われる。	集合住宅は原則、敷地の一部にステーションを設置していただき、家主や管理会社、住人による管理をお願いしています。 本市は、ごみステーションの実態調査を踏まえ、未加入者の方も含め全ての方が適切に、ごみステーションを利用できるよう進めていく方針であり、未加入者向けとなる、市営のごみステーションの設置は、慎重に検討すべきものと考えています。
【事業系ごみについて】		
116	事業系ごみが今まで無料であったことはおかしいのではないか。	本市は、中小企業が多く、特にかつては繊維産業が盛んであり、内職という形で、糸くずや布切れなどが家庭ごみと併せて排出される状況があったことから、市の政策として事業系普通ごみを無料で、また、少量の場合はステーションに排出できるよう取り扱ってきた経緯があります。しかしながら、事業系ごみの処理は、排出者責任が原則となっていることから、家庭系ごみと合わせて事業系ごみの有料化を実施するものです。
117	ごみステーションに事業系ごみが捨てられるというのはおかしい。	

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
118	事業系ごみの排出量が多いが事業者は生ごみ等を減らす努力をしているのか。	「ごみ減量・資源化指針」において、事業系ごみを減らすことを掲げており、事業所への立入調査・指導や食べきり協力店・協力企業の拡大等を通じて、事業系ごみの減量・資源化を推進しています。
119	事業者に対する資源化への取り組みについて、何か指導しているのか。	
120	家庭のごみ袋と事業のごみ袋の値段が同じなのはおかしいのではないか。	事業系ごみの処理手数料は、周辺市町と均衡を図るとともに、小規模事業者への配慮の観点から、家庭系ごみと同額としています。
121	事業系ごみ袋が45ℓだけとなっているが、より大きい袋は作らないつもりか。	特に生ごみなどを大きなごみ袋に入れると袋の重量が増し、収集運搬作業に支障をきたすことから、指定ごみ袋は45Lの1種類とします。
122	農業用の残渣は、どのような扱いとなるか。	作物残渣（摘葉、摘果、剪定枝）などは、事業系普通ごみとなりますので、事業系の有料指定ごみ袋に入れ排出してください。 なお、農業用の、廃プラスチックや廃農薬等は産業廃棄物となりますので、産業廃棄物処理業者に処理を委託するなど、適切に処理してください。
【その他】		
123	周知徹底の方法として、学校や事業所にも行うことが効果的であると思う。	有料化制度に関するチラシを全戸配布するほか、広報紙やホームページ、SNSなど、様々な媒体を通じて周知啓発を図ります。 また、学校を通じて子どもたちへの周知啓発を行うとともに、事業者に対しては、事業者団体等を通して周知啓発を行っていきます。
124	ごみ減量について、子どもたちに学んでほしい。小さいころからごみ減量の意識を植え付けてもらうようにしてほしい。	
125	ごみ袋を有料化するにあたって、自治会員はある程度情報が入ってくるが、非自治会員は情報が入ってこないため、きちんと周知を行い有料指定袋ではない袋で出すことがないようにしてほしい。	
126	有料化するということを知らない市民の方もまだいるので、それまでに積極的に周知してほしい。	
127	ごみの分別等に関する周知徹底について防災無線を利用するなどして実施してほしい。	
128	ごみの減量の推移はどのようになっているか。	「ごみ減量・資源化指針」を策定し、5つの作戦として、多様な資源ごみの回収をはじめ、紙ごみ、生ごみ、プラスチックごみ、事業系ごみの削減に取り組んできました。 これらの取り組みの結果、令和5年度のごみ焼却量は約11.2万tであり、ごみ焼却量のピークである平成9年度の15.5万tから4.3万t削減しています。
129	市はどのようなごみ減量施策を行ってきたのか。	
130	プラスチック製容器包装の分別収集が始まった際にも混乱はあったが、プラスチック製容器包装に加えて雑がみの分別なども行ったことで、ごみの量が減った。	
131	ごみ処理手数料の有料化によって、どのようにゴミの減量につながるのか。	ごみ処理有料化によって、ごみの排出抑制、つまりそもそもごみを出さないようにする意識が働き、ごみ減量に繋がると言われています。先行都市の事例を見ると、有料化前と比べ有料化後は家庭系ごみの排出量が約12%減量しています。

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
132	古紙回収BOXをもっと設置し、トレイのメニューを増やすなどして便利なものにしてほしい。	古紙回収用ボックスは、1自治会連合会につき3か所まで設置が可能であり、自治会連合会において場所の選定・管理をしていただいています。また、ボックスの設置にあたっては、本市に相談をいただいています。 食品トレイについては、プラスチック製容器包装として収集する他、買い物のついでに排出いただけるよう、食品スーパーとも連携し、店頭にて回収をしています。
133	雑がみの回収の際、ホチキスを取らなければならないのか。手間となっているので、回収業者と相談をしてほしい。	回収業者に確認したところ、雑がみ回収にあたり、ホチキスが付いた状態で雑がみをお出しいただいても問題ありません。ただし、本やノートなどは、雑誌類として取り扱いますので、ご協力をお願いします。
134	市役所から送られてくる封筒はプラスチックが使われており、100%資源化できる封筒に変更する予定はないのか。	市が使用する封筒は、「窓」部分も切り取らずに雑がみとしてリサイクルできるものを使用しています。引き続き、市内の事業者に対しても、ごみの減量・資源化の啓発をしていきます。
135	ダンボールコンポストでたい肥化をしているが、アパートなどに住んでいたりして、せっかくだい肥化しても無駄になってしまう。	ダンボールコンポストを利用してできた堆肥を使いきれない場合、市で回収し、学校の花壇などで活用する「生ごみ地域循環事業」を実施しています。収集場所及び日程については、「岐阜市ごみ出しのルール」または市ホームページに掲載しています。
136	小学校にコンポストを設置し、そこで生ごみ処理を行うなど、減量施策をもっと行うべきではないか。	小中学校から排出される給食残さは市で回収し、堆肥化しています。
137	上下水道事業部と協力して、ディスポーザーを利用した生ごみの減量を図ってほしい。	現在、電気式生ごみ処理機、非電気式生ごみ処理容器、ダンボールコンポストへの補助を行い、生ごみの減量に向けた取組みへの支援を実施しています。引き続き、市民の生ごみの減量に向けた取組みに支援をしていきたいと考えています。
138	ごみを減量できた場合には何かの特典を与えるといったことを考えてもいいのではないか。	市民が更なるごみの減量に取り組めるよう、引き続き、有効な施策等について調査・研究していきます。
139	行政改革やテクノロジー（生成AIなど）で問題を解決できるようにしていけば、費用の捻出ができると思われる。	デジタル技術等を活用したごみ収集の効率化について、先行自治体での事例など、調査・研究していきます。
140	ごみ収集回数を減らすなど、経費を削減する方法を考えるべきだ。	現在、普通ごみを週に2回、ビン・カン・ペットボトルを週1回、プラスチック製容器包装を週1回、計4回の収集を行っています。 普通ごみ（生ごみ）の収集回数を減らすと、特に夏季に腐敗や悪臭の原因となります。 また、ペットボトルとプラスチック製容器包装は排出量が多く、収集日を減らすと、収集日に集積場に収まらず通行の妨げになったり、散乱の原因となります。 このような衛生上、安全上の観点から、現在の収集回数を維持していきます。

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
141	ごみ処理手数料は地方自治法227条の特定のためにする事務とは言えないのではないか。	ごみ処理手数料を徴収することが、地方自治法第227条に違反するのではないかとして争われた裁判においては、指定収集袋を用いた排出者のためのごみの収集運搬行為は、特定の者のために提供する役務であるとし、同法同条に違反するものではないとの判決が出ています。
142	有料化によって歳入をどれ位見込んでいて、その歳入をどういったことにいくら使うのか。	ごみ処理手数料収入として約9.2億円を見込んでいます。また、有料指定ごみ袋の製造費などの制度実施に伴う経費は、約3.7億円となる見込みです。
143	ごみ処理有料化を実施していないのは県内では岐阜市とどこなのか。	令和7年6月現在、ごみ処理有料化を実施していないのは本市と岐南町です。なお、岐南町は、令和8年4月からごみ処理有料化を実施します。
144	ごみの有料化をしている都市はあると思うが、その成功事例等どのくらい調査したのか。	主に県内市町村や中核市の状況を調査し、ごみ処理有料化制度を検討しています。 なお、ごみ処理有料化の効果として、平成12年度から平成30年度の間に、家庭系ごみの有料化を導入した155市を対象に行われた、東洋大学の調査や、直近に家庭系ごみを有料化した中核市4市では、いずれも家庭系ごみの排出量が平均12%程度減量しています。
145	有料化実施後、無料に戻すなどの検討をする予定はあるか。	ごみ処理有料化制度をより効果的に運用していくため、制度の導入後は、ごみ処理有料化に伴う効果や併用施策の実施状況について、岐阜市環境審議会等で定期的に点検・評価を行い、この結果を踏まえ必要な対応を行いながら、制度の適切かつ効果的な運用を図っていきます。
146	アンケートの調査結果によって、有料化の施策は何か変わるのか。	意見交換会やアンケート調査、パブリックコメントでいただいたご意見を踏まえ、ごみ処理有料化制度をとりまとめました。
147	意見交換会を実施した後に、具体的な案を検討する方法が正しいやり方ではないのか。	
148	有料化することが前提で議論がなされているのはおかしいのではないか。	
149	こういった意見交換会を継続してほしい。有料化までに丁寧に行ってほしい。	平成23年にごみ処理有料化制度の導入について検討を開始し、平成24年には、岐阜市環境審議会から「ごみ処理有料化制度は、次世代に先送りすることなく実施することが望ましい」と答申を受けています。その後、ごみ減量・資源化に資する様々な施策に取り組みながら、有料化の課題などの調査研究を進めるとともに、市民意見交換会などを開催し、ごみ処理に係る現状や課題を整理してきたところです。そして、本市のごみ処理の現状及び地域の課題等を総合的に勘案し、ごみの減量・資源化を推進すること、地域コミュニティの支援を要すること、岐阜羽島衛生施設組合の他の構成市町の有料化制度の導入状況から、ごみ処理の有料化を実施することを判断しました。
		ごみ処理有料化の実施にあたっては、各地区において市民の皆様への説明の機会を持つなど、丁寧に取り組んでいきます。

番号	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方
150	行政だけでごみ処理を考えるのではなく、自治会がごみステーションのことを含め、地域が考えていかないといけない。	今後、地域や自治会の方々がごみステーションの在り方について話し合う場を検討していきたいと考えています。
151	高齢者が粗大ごみを出せずに、家に粗大ごみが溜まっている状況であるが、何か対策はないのか。	粗大ごみは、別途ご予約のうえ、戸別収集が可能となっております。粗大ごみ受付センター（058-243-0530）にて承っておりますので、ご利用ください。
152	粗大ごみは自己搬入か戸別収集となっているが、出しにくいと感じたことがある。出しにくい故に、普通ごみに粗大ごみが紛れていることがある。	事前申し込みの電話が繋がりにくいというご意見があり、自己搬入のオンライン申し込みを開始しました。また、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を導入し、主な品目について分別のご案内を行っています。排出方法、品目等について引き続き周知を図っていきます。
153	ごみ分別アプリで剪定枝と調べると出てこない。もっと使い勝手の良いアプリにすべきだ。	ご指摘いただいた点も含め、分別区分の見直しを行いました。今後も随時、見直しを行っていきます。
154	自治会未加入者に対して自治会加入についての案内は行っているのか	市民課や各事務所において転入手続き時に自治会加入促進チラシを配布したり、デジタルサイネージを活用した自治会加入動画の放映や活動を紹介した地域発行冊子の配架、不動産協会・宅地建物取引協会との協定に基づくマンションなどの入居者へ自治会加入の働きかけなどを行い、自治会加入促進を図っています。
155	掛洞プラントを廃炉して、岐阜羽島衛生施設組合の新しいごみ処理施設を運用していくとのことだが、災害が起きた時に、ごみ処理施設が長良川以南の2ヶ所で問題ないか。	大規模災害に備え、中部ブロック（富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県）管内において、「災害廃棄物中部ブロック広域連携計画（大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会）」を整備し、県域を超えて災害廃棄物の処理を連携し合う体制が整っており、災害発生時には、本市も、この仕組みを活用していくこととしています。
156	三輪北地区の出屋敷が最終処分場の候補地に選ばれている。最終処分場に埋め立てられる焼却灰に不適正なものが入っていないか心配である。	現在埋立地として稼働している大杉最終処分場では、東部クリーンセンター及び掛洞プラントで焼却処理された焼却残渣を埋め立てています。これらの埋立作業は岐阜市職員が実施し不適切なものが入っていないか確認をしています。また、焼却残渣の搬入時間以外には不適正なごみが持ち込まれないよう施設の入口を施錠するとともに監視カメラにより監視をしています。
157	最終処分場の候補地は出屋敷以外に他にないのか。よく検討してほしい。	学識経験者等で構成された岐阜市一般廃棄物処理施設用地選定委員会において、法規制及び本市の地域特性を踏まえた上で選定に係る評価項目等を検討・評価した結果、出屋敷が適地であると判断されています。